

10月20日(金)七城中学校で稲刈り

七城中学校の学校田で、全校生徒と保護者などが参加して、稲刈りがありました。

今年の6月30日(金)に泥だらけになって植えた苗は、無農薬・有機栽培の合鴨農法で管理し、さまざまな格好をした「力カシ」を作って、鳥からの被害防止にあたりました。

生徒たちは、小学校から毎年1回学校田の稲刈りを経験していることもあり、慣れた手つきで稲を刈っていました。

この体験は、保護者の皆さんの協力で、米を生産することの大変さや食べ物の大切さ、自然とのふれあいを目的に毎年行われています。

また、七城小学校でも10月13日(金)に、小学校の学校田で稲刈り体験がありました。



七城中学校の学校田で、稲刈りをする生徒たち。慣れた手つきで

10月22日(日)第5回スーパー9オールスターズフェスティバル熊本県予選会で菊池ボンバーズが初優勝

バレーボールのスーパー9オールスターズフェスティバル熊本県予選会で、菊池ボンバーズが初優勝を飾りました。

菊池ボンバーズは、約10年前に社会人クラブチームとして発足し、週に2回程度の練習と、年間10数試合をこなしており、先輩たちから受け継いだ「菊池バレー魂」を胸に頑張っています。

また、ジュニア・中学・高校などのバレー選手が、将来この菊池の地でバレーボールを「生涯スポーツ」として楽しめるような、環境作りも目指して頑張っています。

なお、同チームは、12月14日(木)～17日(日)に神奈川県藤沢市で開催される全国大会に熊本県代表として出場します。市民の皆さんの応援をお願いします。



優勝した菊池ボンバーズのメンバー

10月21日(土)・22日(日)家庭婦人バレーボールブロック別選手権大会で泗水愛球が優勝

山鹿市菊鹿町グリーンパレスほかで行われた、熊本県家庭婦人バレーボールブロック別選手権大会(熊本県バレーボール協会主催)で、泗水愛球(片山涼子代表)チームが、優勝しました。

熊本県下53チームが3つのブロックに分かれて競い合い、Cブロックに入った同チームが、ブロック優勝したものです。

代表の片山さんは「毎週金曜日午後8時から泗水中学校体育館で練習しています。初心者も歓迎しますので、一緒にバレーしませんか」と話されました。



優勝した泗水愛球チームのメンバー

10月25日(水)菊池南中の芹川光歩くんと田崎和也くんが全国大会出場を報告

菊池南中学校の芹川光歩くん(3年)が高円宮杯第58回全日本中学校英語弁論大会への出場を、田崎和也くん(3年)が第37回全日本ジュニアオリンピック陸上競技大会共通男子ジャベリックスロー(※)への出場を決め、その報告に福村市長を訪れました。

両親が英語教師で幼稚園から英語を勉強していたという芹川くんは「昨年に続いて決勝に進みたいです」と、今年の夏休みから競技を始めたという田崎くんは「1mでも遠くに飛ばせるように頑張りたいです」と抱負を話し、福村市長が「自分の力を出して頑張ってください」と激励しました。

※ジャベリックスロー・・・やり投げのオリンピック選手を育てるための競技として行われているもので、やり投げの中学生版。



報告に訪れた芹川くん(左から2番目)と田崎くん(左から3番目)

10月29日(日)泗水秋まつり

爽やかな秋空のもと、泗水秋まつりが孔子公園でありました。「しすいコスモスマラソン大会」、「孔子まつり」、「農業まつり」が同時開催されたもので、たくさんの人で終日賑わいました。

マラソン大会には、市内外から614人が出場し、孔子公園横をスタートした選手たちは、3キロ、5キロ、10キロの部にそれぞれ分かれ、たくさんのコスモスが咲く合志川沿いのコースで健脚を競いました。

また、合併後にあらためて友好都市の調印をするために来日した、韓国金堤市の李建植(イ・コンシク)市長などの招待選手も出場し、国際交流の輪も広がりました。

午後からは、The CRISOTTS(ざ・くりそつつ)のステージや〇×クイズなどがあり、家族連れなどの来場者を沸かせました。

同園の祀聖亭(しせいいてい)周辺であった「祭孔大典」では、色鮮やかな衣装を身にまとった舞生の踊りや、中国古来の楽器を奏でる楽生の演奏などを、地元泗水中学校生徒など約71人が披露し、訪れた観客を魅了しました。

また、終日、会場では農畜産物の販売やJAの各部会の展示販売などがあり、たくさんの行列ができていました。



養生米釣りに挑戦する子どもたち

祀聖亭周辺であった祭孔大典



スタート1キロ付近を走る選手たち



The CRISOTTS(ざ・くりそつつ)のステージ



孔子公園書道展で表彰された子どもたち

10月19日(木) 泗水煙草販売組合がボランティアで環境美化作業(スモークン クリーン キャンペーン)

泗水煙草販売組合の組合員など関係者約20人が、泗水総合支所周辺や商店街などの清掃活動を行いました。

この活動は、毎年1回10月ごろに実施されているもので、参加した組合員は「拾えば街が好きになる運動」という緑のエプロンと帽子のお揃いの格好で作業を行いました。

「以前とくらべて、ごみの量もずいぶん減り、町もきれいになりました」と清掃を終えた組合員。

約3時間ほどの作業でしたが、ごみ袋の中は、空き缶、煙草の吸殻などで、いっぱいになっていました。

また、菊池・七城・旭志の煙草販売組合でも、同様の作業が行われました。



商店街周辺の清掃作業をする泗水煙草販売組合の組合員